



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

ボランティア部門【食育推進ボランティアの部】

消費・安全局長賞

きょうつはた

京津畑自治会

[岩手県：活動期間24年]

郷土料理伝承活動

～自らの“手弁当”からはじまる集落の活性化・地域づくり～

伝承活動で、自分たちへの励みにも

こどもから高齢者まで自治会の幅広い世代が参加し、郷土料理をテーマに調理し出展する「京津畑まつり『食の文化祭』」を長年開催し、一関地方に古くから伝わる郷土料理の継承の一助を担っています。「食の文化祭」をきっかけに起業した郷土食の女性加工グループ「やまあい工房」の活動は20年間継続され地域に活力をもたらし、自治会も継続して支援しています。自治会が一丸となって進める取組は、食育の推進及び地域振興に大きく貢献しています。

小学校で
郷土料理教室を開催



「やまあい工房」による
郷土食講習会の様子



郷土食を通じた笑顔の交流

「食の文化祭」は、毎年度、集落の老若男女に参加を募り、実行委員会を立ち上げ、一人ひとりの声を大事に活かして取り組んでいます。自治会総出で郷土料理を調理・出展し、催事の来場者に普及啓発を図りながら、郷土料理の伝承活動を行っています。わずか40世帯、人口120人の小集落に約1,000人の人出でにぎわう食の祭りは、秋の“風物詩”と言われるようになっていきます。

県内外からの
多くの人でにぎわう
「食の文化祭」



郷土料理に工夫を加え、さらなる発展へ

食の文化祭を長年継続していく中で、かつての山里の食が再び脚光を受け、さらに現代風にアレンジされ、若者に「新鮮な食事」として見直されています。また、「やまあい工房」が、郷土食を工夫発展させ、弁当や総菜の加工販売・高齢者世帯への配食サービス、小中高校への出前講座など、多様な食の活動で地域の活力となっています。



「懐かしい」が
「新しい」に！
郷土料理に再び注目

美味しいお弁当は
地域の活力に！



自治会では“なつかしい山里食の再発見”をテーマに、長年「食の文化祭」による交流イベントを開催してきました。このイベントを契機に起業した女性グループ「やまあい工房」のふるりの味は、県内外の皆さんの人気となっています。少子高齢化の進む現状ですが、受賞を励みに未来につなぐ郷土食の伝承と地域づくりに、これからも頑張っていきます。

京津畑自治会 会長 伊東 鉄郎